

Coca-ColaがMigrator for Notes to Exchangeにより、移行期間を33%短縮



「当社の経営陣は、多数の連絡先をNotesで管理していましたが、Migrator for Notes to Exchangeを導入したことで、こうした情報のすべてを、データのロスなく移行できました」

Coca-Cola Bottling Co.Consolidated,
上級システムスペシャリスト、Alicia Graham氏

お客様のプロフィール



企業名	Coca-Cola Bottling Co. Consolidated (CCBCC)
業界	食品、飲料、およびタバコ
国	米国
従業員数	3,000人
Webサイト	cokeconsolidated.com

ビジネスニーズ

Coca-Cola Bottling Co. Consolidatedでは、3,000個のメールボックス、配布リスト、および会議室を、IBM NotesからMicrosoft Exchange Serverに、データロスや中断を伴うことなく移行する必要がありました。

ソリューション

インストールが容易で、24時間365日のテクニカルサポートが受けられる、低コストの移行テクノロジーであることから、CCBCCはMigrator for Notes to Exchangeを選択しました。同社はまた、移行中にExchangeとNotesが確実に連携するよう、Coexistence Manager for Notesも導入しました。

メリット

- 移行期間が33%短縮され、予定より2ヶ月前倒して作業が完了
- IBM Notesの3,000個のメールボックスをExchange Serverに100%の精度で移行
- 使いやすさにより、社外のコンサルティング費用を削減
- ビジネスのワークフローを保持したまま、コラボレーションを実現

ソリューションの概要

- Windows Serverの管理

Coca-Cola Bottling Co. Consolidated (CCBCC) は、主にThe Coca-Cola Companyの製品である炭酸飲料と非炭酸飲料の製造、販売、および供給を行っています。CCBCCは、Coca-Colaの米国最大の独立系ボトラーとして、11州で事業を展開しています。

CCBCCは、多くの組織と同様に、Microsoft®/SAP®プラットフォームで標準化を行うという戦略的な決定を下しました。この戦略の重要なポイントは、NotesからMicrosoft Exchange ServerおよびOutlookに移行するという点にあります。Microsoftのメッセージングプラットフォームに標準化すれば、CCBCCの従業員に新たなコラボレーションがもたらされます。またExchangeは、Microsoft ActiveSync 4.5搭載のさまざまなモバイルデバイスに対応しているため、コストも削減できます。

プロジェクトが数ヶ月を要するものであると理解していたCCBCCでは、業務の中断を最小限に抑えるため、プロジェクトの計画と実施を慎重に進める必要がありました。要件は明確で、およそ3,000個のメールボックス、配布リスト、および会議室を、データロスに伴うことなく、Exchangeに移行するというものでした。さらに、NotesとExchangeの環境を共存させ、ユーザーの移行状況にかかわらず、どのユーザーともコラボレーションを継続すると共に、会議の予定を立てられるようにする必要がありました。

マルチスレッドアーキテクチャ

CCBCCは、Microsoft認定ゴールドパートナーのInfraScienceと契約し、移行を迅速かつシンプルに行うためのリソースを決定しました。InfraScienceからは、Windows Server 2008を実行するQuest PowerEdgeラックサーバにExchange環境を新規構築し、NotesからExchangeに移行するための技術的専門知識が提供されました。CCBCCの移行と共存に関する要件を満たすため、InfraScienceとCCBCCは、Migrator for Notes to ExchangeとCoexistence Manager for Notesを検討しました。そして両社は、市場のツールベン

ダーを慎重に評価した結果、インストールが容易で、24時間365日のテクニカルサポートが受けられる、低コストの移行テクノロジーを提供するQuest®を選択しました。

Migrator for Notes to Exchangeは、NotesのEメール、カレンダー、タスク、および個人用アドレス帳を、Exchange/Exchange Online (BPOS) にZeroIMPACTで確実に移行することで、ダウンタイムやデータロスのリスクを緩和し、IT部門の負担を軽減します。CCBCCが特に気に入ったのが、管理者による移行の進捗状況の監視を容易にする、Migrator for Notes to Exchangeのステータスレポート機能でした。

CCBCCとInfraScienceは、Migrator for Notes to Exchangeに、競合他社のソリューションにはない、重要な機能が備わっていることに気がきました。これについて、CCBCCのISSテクニカル・サービス・プロジェクト・マネージャであるMary Morabito氏は、次のように説明します。「当社では、既存のメールフォルダの構造を保持する機能が必要だというのが、最も重要な要件の1つでした。フォルダを作成し、自身が定義したフォルダシステムにEメールを保存していたユーザーのために、フォルダのツリー構造を保持する必要があったわけですが、他のツールでは、それができませんでした」。

「Migrator for Notes to Exchangeでは、1つのメールボックスが破損していても、マルチスレッドツールにより、その他のメールボックスの移行作業を継続できます」。

Mark Pierce氏
経営コンサルタント
InfraScience

製品とサービス

ハードウェア

Quest PowerEdgeラックサーバ

ソフトウェア

Coexistence Manager for Notes

Migrator for Notes to Exchange

Migrator for Notes to Exchangeが競合製品と差別化できたのは、さらにマルチスレッドアーキテクチャという機能があったからです。これについて、InfraScienceの経営コンサルタントであるMark Pierce氏は、次のように述べています。「シングルスレッドのツールでは、一度に1つのメールボックスしか処理できません。そのため、破損したメールボックスがあると、タイムアウトに時間がかかり、その他のメールボックスがキューにたまってしまいます。それに対し、Migrator for Notes to Exchangeでは、1つのメールボックスが破損していても、マルチスレッドツールにより、その他のメールボックスの移行作業を継続できます」。

CCBCCは、Migrator for Notes to Exchangeと併せて、Coexistence Manager for Notesも購入しました。これは、NotesとExchangeの間で、Eメールとカレンダーの正確なフローを確保し、コラボレーションと業務の生産性を維持するものです。

生産性の向上

CCBCCは、Migrator for Notes to Exchangeを導入したことで、NotesからExchangeへの移行を予定より2ヶ月近く早く完了し、移行期間を33%短縮することに成功しました。Morabito氏は、次のように述べています。「4月に100人のパイロットグループの移行を開始し、5月に全社展開しました。プロジェクトの完了は9月末を目標にしていたが、Migrator for Notes to Exchangeを使用して、複数のメールボックスを同時に移行できたことで、展開の期間が短縮されました。移行は8月の初めまでに、予定よりほぼ2ヶ月前倒しで完了しました」。

CCBCCのITスタッフは、Migrator for Notes to Exchangeが使いやすく、InfraScienceのコンサルティングも受けられたため、自分たちで移行を行う方法をすぐに習得し、さらなるコスト削減を

達成しました。これについてMorabito氏は、次のように説明します。「プロジェクト後半では、InfraScienceがプロセスを統括し、バックエンドでサポートする役割を果たしていました。製品の知識を得られたことが、社外のコンサルティングの費用の削減につながりました」。

Migrator for Notes to Exchangeは、スピーディでコスト効果の高い移行にとどまらず、CCBCCが求めていた包括的な移行も実現しました。CCBCCの上級システムスペシャリストであるAlicia Graham氏は、次のように述べています。「データの正確性は、当社にとって最も重要な要件の1つでした。ビジネスにおいては特に、ユーザーが連絡先情報を失うことを避けなければなりませんし、当社の経営陣に関しては、多数の連絡先をNotesのアドレス帳で管理していました。Migrator for Notes to Exchangeを導入したことで、こうした情報のすべてを、データのロスなく移行することができました」。

カレンダーの招待状の一部は、異なるプラットフォーム間でそのまま送信すると、正常に処理されないため、Coexistence Manager for Notesは、CCBCCにとって極めて有効であることがわかりました。このツールを使用すれば、カレンダーの招待状を繰り返し送信するカスタム設定が正確に保持されるため、NotesおよびExchangeユーザーは、メールボックスがどこにあっても相互に連携し、会議の予定を立てることができます。

Coexistence Manager for Notesは、NotesのEメールを送信するアプリケーションとシームレスに連携し続けたい、というCCBCCのニーズにも応えました。Coexistence Managerは、リンク・トラッキング・サービスと統合され、Notesのアプリケーションから送信されるEメールメッセージに埋め込まれたNotesドキュメントへのリンクが、共存する期間中、確

実かつ正確にルーティングされ続けるようにして、ビジネスのワークフローを保持しています。

Graham氏は、次のように述べています。「本プロジェクトの次のフェーズでは、NotesのアプリケーションをMicrosoftのプラットフォームに移行します。それが完了するまで、共存による問題は解決されません。Notesのアプリケーションから、リンクを含むEメールがOutlookユーザーに送信されると、Outlookユーザーは、データベースのフォームやビューなどの必要な情報に基づき、Notesデータベースの該当するアプリケーションを開くことができなければなりません。Coexistence Manager for Notesを使用することで、その機能をシームレスに実現できました」。

CCBCCは、Questのソリューションがもたらした価値に厚い信頼を寄せています。これについてGraham氏は、次のように話します。「Questのツールがなければ、移行はできなかったでしょう。検討中の製品に必要な機能や能力があるとうたわれていたのに、いざ購入すると、環境に適合しないというケースは少なくありません。それに対し、Questのツールは、期待通りに機能してくれました」。

QUESTについて

Questは、単調な管理タスクを減らし、ビジネスの成長に必要なイノベーションに集中できるよう、お客様をサポートします。スケーラブルかつ低コストで使いやすいQuest®のソリューションにより、効率性と生産性を最大限に高めることができます。Questは、グローバルコミュニティの一員としてイノベーションに取り組むための環境をお客様に提供すると共に、お客様の満足を追求しています。今後も、Azureクラウド管理、SaaS、セキュリティ、モバイルワーク環境、データ主導の洞察のための包括的なソリューションの提供を加速化してまいります。

その他の導入事例: [Quest.com/Customer-Stories](https://quest.com/Customer-Stories)